

様式第3号

一関中学校・南小学校学校運営支援協議会 会議録

- 1 会議名 令和7年度第3回一関中学校・南小学校学校運営支援協議会
- 2 開催日時 令和8年2月13日（金） 14時35分から15時45分まで
- 3 開催場所 一関市立南小学校 校長室
- 4 出席者 松尾芳弘（会長）、藤村実千代（副会長）千田智明、若山義典
平間昭紀、小野寺徹、千葉美佳子、佐々木伸也
岩清水裕行、菅野剛英（10名出席）
沼倉恵子、藤田昭洋、小岩孝朗（3名欠席）

5 議 題

- (1) 一関中学校 令和7年度学校経営の概要と令和8年度の方向性等について
- (2) 南小学校 令和7年度学校経営の概要と令和8年度の方向性等について
- (3) 令和8年度の学校運営支援協議会について
- (4) その他

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴人 0人

8 議事内容

- (1) 一関中学校 令和7年度学校経営の概要と令和8年度の方向性等（菅野委員提案）

①【早寝・早起き・朝ごはん】の習慣について

委 員：(学校評価アンケートの保護者回答結果をうけて)全ての活動の根源は睡眠と生活リズムづくりにある。ぜひ意識をさせていきたい。影響させるのがメディアの存在。睡眠時間の意識や、メディアの使用時間についても意識をもってもらいたい。小中でメディアの弊害についても検証すべき。

会 長：高専では、学生にどのように指導、対処をしているか。

委 員：個別に指導している。

会 長：いずれ家庭での責任が大きい部分であるが、生活リズムの大切さや、メディアから受ける弊害については、機会を見て啓蒙していきたい。

②家庭学習について

副 会 長：中学校では、どのように家庭学習に取り組ませているのか。

副 校 長：学年の取組にもよるが、基本、毎日課題に取り組ませている。また、教科によっても指示が出る事がある。提出する生徒の方が多数、と聞いてはいる。自宅ではなく、学校で取り組む生徒もいる。

委員：子どもたちの環境に競争がなくなっている。先生方は、学習の仕方などを通信で紹介する等、励ましの環境はある。委員会での取り組み、テストへ向けての学習などをからめながら、家庭でも励ましてできるとよい。

委員：目標があるかないかや目的意識が大事。将来なりたい自分を想定し、やられる勉強、から、進んで学ぶ勉強となるよう、今後も指導を継続させていきたいところ。

(2) 南小学校 令和7年度学校経営の概要と令和8年度の方向性等（佐々木校長提案）

●安全対策について

副会長：防犯カメラの予算はどのようにしている？

副校長：基本は学校予算で購入（今回は校長会においての南小からの要望による市からの提供）

委員：幼稚園では、子ども家庭課を通して、市からの補助金によって購入。不審者や熊対策にも使用できるが、子どもが怪我をした場合、保護者に説明する際に有効。

委員：学校運営支援協議会等から市への要望などはできないものか。

委員：PTAなどからも要望の声をあげる事は大事かと思う。

副校長：市から、防犯カメラ設置についての状況調査がここ数日で入っている。何か起こってから動く体制ではなく、出来る事を学校でも実施し、市にも要望を続けていきたい。

(3) その他

●地域ボランティアコーディネーターより（実績報告）

- ・この学区での活動実績、令和7年度は南小35日間で150人が、中学校では、今年度初めて草刈りを13名で実施。
- ・ボランティアを通じたアンケート結果には、地域の力になりたいと回答している児童が80%以上あり、そのような児童、生徒に育っていることがうれしい。そのためにも、学校と地域を結んだ活動を継続させていきたい。
- ・他校での中学生への読み聞かせの実践例もあるため、小学校から中学校までの9年間を通じた積み重ねも意識して、活動の幅を広げていきたい。

委員：中学生が、小学生などへの読み聞かせボランティアに応募する、などの取組も実現できるものだろうか？

委員：可能であると思われるので、次年度、検討してみたい。

●市民センターの利用について

委員：市民センターの利用は本来有料であるが、地元の子どもたちには無料で貸

し出す場面がある。地元の高校生と小学生のふれあいや心の交流、上級生が下級生の面倒をみるような姿が大変すばらしい。大いに利用してほしい。

(4) 令和8年度学校運営支援協議会の方向性について

事務局：令和8年度の組織について、継続していただけるか。要望や不都合があれば、事務局まで連絡をいただきたい。

9 担 当 一関中学校 副校長 菅野剛英
電話 23-5120